

# これからの「便利」をつくり続け 「一世紀事業所」目指す

## 印南製作所

### 社長対談



井水 御社のCM(コマシヤル)を拝見しました。これが「便利」をつくり続ける会社というキャッチフレーズは事業の特徴を的確に表しています。

印南 機械を納品したお客様から「印南さん、非常に便利になったよ」という声をいただいたときの喜びや達成感をコンセプトにしています。

井水 長続きする企業は顧客、社員、地域社会など「人」を大切にしています。



印南 英一 社長

印南製作所は創業60周年を迎える。包装機械を主力に、自社オリジナル製品のメール便高速梱包機械「エコメールパック」など新規分野にも積極的に参入。「断らない印南」をモットーに省力機械メーカーとして顧客のニーズに徹底的に応えるモノづくりを展開中だ。印南英一社長に「経営ビジョン」と「一世紀事業所を目指す決意」について日刊工業新聞社の井水治博社長が聞いた。

## 最善の課題解決法で顧客に応える

### —— 5年ごとの経営ビジョンを明確に ——



井水 治博 日刊工業新聞社社長

印南 5年ごとの経営ビジョンと5年ごとの売上高、人材育成や新製品開発、業務プロセスなどといった目標を明確にした「ビジョンプラス5」を策定しています。

井水 「エコメールパック」や「ポスター巻き取りテープ貼り装置」など、「便利」な製品を商品化しています。どのようにアイデアの源

印南 私自身、大学は工学部出身の機械作りが好きなので、ふと気づけばスタッフと一緒に作業してしまっている時もあります。また、新製品のアウトラインの提案を出すことも

井水 「答えのない問題はない。答えのない問題は無い。私がよく言う言葉ですが、浮かびました。日常の中にも、一生懸命考えてもひらめかないけれど、何かの折にヒントが転がっている。そういう目標で、いろいろな事に興味を持ちながら過すように、スタッフに伝えています。

井水 ドローンによる配達実用化などが進んでいますが、そういうようなIoT(モノのインターネット)への対応は今後考えていこうと思っています。

印南 ウチとは関係ないと感じている場合は、当社にはモノづくり企業ですが、当社のパッケージマシンなど購入していただいたお客様さまへ、マシンにデータ相互通信機能などを今後組み込まないと「将来に対応できない」とアドバースするようになっています。

印南 断らない印南」をモットーに省力機械メーカーとして顧客のニーズに徹底的に応えるモノづくりを展開中だ。印南英一社長に「経営ビジョン」と「一世紀事業所を目指す決意」について日刊工業新聞社の井水治博社長が聞いた。

### 新ビジョンプラス5

お客様の立場で考え、新たな発想から解決策をご提案し、お客様にとっての真の価値を実現しつづけます。

目標と課題 (60期末)

財務	売上・利益の拡大(売上高20億円、限界利益率40%、営業利益3億円) 自己資本比率の改善
顧客	既存分野の顧客満足度の増大(品質安定・納期遵守) 新規分野の顧客創造(売上構成比20%)
業務プロセス	原価管理・工程管理・品質管理の徹底 自社ブランド製品のマーケティングの強化
人材と組織	マネジメント能力・体制の強化 社員の専門性と連携の強化

## 登り続けて

# 創業60年

## 老いない企業であり続けること 一世紀事業所を目指します

モノづくりを  
追求し続け  
世の中に新しい便利を  
お届けする  
私たちの新たなる  
挑戦が始まります!

印南製作所 従業員一同